

各 位

会社名： ポラリス・ホールディングス株式会社
 代表者名： 代表取締役社長 田口 洋平
 (コード番号:3010 東証スタンダード市場)
 問合せ先： 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏
 (TEL:03-5822-3010)

ホテル運営状況に関するお知らせ(2025年9月度)

当社グループが運営するホテル(海外ホテル除く)の2025年9月度におけるホテル運営状況につき、宿泊部門の客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率を下記のとおりお知らせいたします。なお、過去の運営実績については当社ホームページ(https://www.polaris-holdings.com/ir_performance/)をご参照ください。

記

1. 国内全ホテル

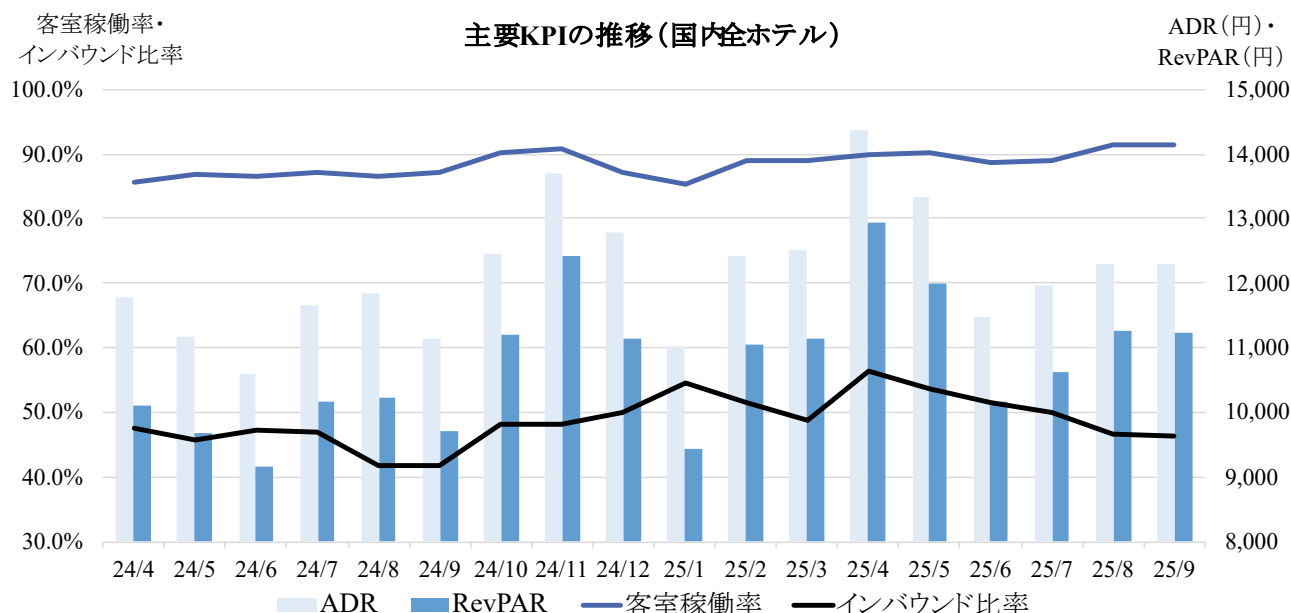
	当月 2025年9月	前年同月 2024年9月	増減数	増減率	当期累計 自 2025年4月 至 2025年9月	前期累計 自 2024年4月 至 2024年9月	増減数	増減率
全 66 ホテル								
客室稼働率	91.4%	87.3%	+4.1%		90.1%	86.6%	+3.4%	
ADR(円)	12,282	11,130	+1,152	+10.4%	12,617	11,364	+1,253	+11.0%
RevPAR(円)	11,222	9,715	+1,508	+15.5%	11,363	9,846	+1,517	+15.4%
インバウンド比率	46.4%	41.6%	+4.8%		50.7%	45.1%	+5.5%	

2. 運営状況の概要

日本政府観光局公表の訪日外客統計資料によると、2025年9月の訪日外客数は前年同月比13.7%増の3,266,800人であり、9月としては過去最高を記録し、9月までの累計で31,650,500人となりました。

東アジアでは台風の影響による航空便の欠航があったこと、前年9月中旬にあった中秋節が今年は10月上旬となった影響があったものの、中国、韓国、台湾、欧米からの訪日外客数は前年同月比で引き続き増加いたしました。

このような状況の中、当社グループ運営ホテルのRevPARは全てのエリアにおいて前年同月比で増加しました。特に近畿エリアでは、終了が近く「EXPO 2025 大阪・関西万博」開催の宿泊需要を捉えて効果的なレベニューマネジメントを実施したことでRevPARは前年同月比で49.0%と大幅な増加を実現しております。結果として、当社グループが運営する国内全ホテルのインバウンド比率は4.8%上昇し、RevPARは前年同月比で15.5%増加しました。



3. 国内ホテル エリア別

	当月 2025年9月	前年同月 2024年9月	増減数	増減率	当期累計 自 2025年4月 至 2025年9月	前期累計 自 2024年4月 至 2024年9月	増減数	増減率
北海道 (7 ホテル)								
客室稼働率	95.1%	94.3%	+0.8%		91.8%	88.9%	+2.9%	
ADR(円)	12,259	10,607	+1,652	+15.6%	12,011	10,284	+1,727	+16.8%
RevPAR(円)	11,657	10,002	+1,655	+16.5%	11,025	9,143	+1,882	+20.6%
インバウンド比率	22.7%	17.6%	+5.1%		28.1%	22.9%	+5.2%	
東北・北陸信越 (6 ホテル)								
客室稼働率	91.7%	88.3%	+3.4%		89.0%	87.7%	+1.3%	
ADR(円)	9,479	9,047	+432	+4.8%	9,295	9,001	+295	+3.3%
RevPAR(円)	8,689	7,986	+703	+8.8%	8,271	7,896	+376	+4.8%
インバウンド比率	22.8%	18.4%	+4.4%		26.8%	21.3%	+5.5%	
関東 (18 ホテル)								
客室稼働率	96.0%	94.2%	+1.8%		95.5%	94.5%	+1.0%	
ADR(円)	15,398	14,871	+526	+3.5%	17,039	16,042	+997	+6.2%
RevPAR(円)	14,779	14,011	+768	+5.5%	16,264	15,152	+1,112	+7.3%
インバウンド比率	70.8%	65.2%	+5.5%		72.6%	66.2%	+6.4%	
中部 (6 ホテル)								
客室稼働率	88.7%	74.8%	+13.9%		86.9%	77.4%	+9.5%	
ADR(円)	9,348	8,660	+687	+7.9%	9,512	8,483	+1,030	+12.1%
RevPAR(円)	8,291	6,479	+1,811	+28.0%	8,270	6,566	+1,704	+26.0%
インバウンド比率	44.0%	33.4%	+10.6%		49.2%	37.9%	+11.3%	
近畿 (15 ホテル)								
客室稼働率	92.1%	83.8%	+8.3%		90.5%	84.6%	+5.9%	
ADR(円)	13,312	9,822	+3,490	+35.5%	12,900	9,984	+2,916	+29.2%
RevPAR(円)	12,267	8,235	+4,032	+49.0%	11,674	8,449	+3,225	+38.2%
インバウンド比率	48.5%	49.0%	-0.5%		57.2%	53.6%	+3.6%	
中国・四国・九州 (14 ホテル)								
客室稼働率	85.3%	84.5%	+0.8%		85.4%	83.0%	+2.4%	
ADR(円)	10,697	10,362	+335	+3.2%	10,876	10,251	+625	+6.1%
RevPAR(円)	9,123	8,752	+371	+4.2%	9,288	8,510	+778	+9.1%
インバウンド比率	38.4%	32.9%	+5.5%		39.9%	36.1%	+3.8%	

- (注1) 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ前月末日時点で運営を継続しているホテルを集計対象としています。前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営していたホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
- (注2) 客室稼働率:対象期間の延販売客室数を同期間の延販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注3) ADR:平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、対象期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の延販売客室数で除した値をいいます。
- (注4) RevPAR:販売可能客室当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、対象期間の宿泊部門売上高合計を同期間の延販売可能客室数で除した値をいいます。
- (注5) インバウンド比率:対象期間の延宿泊者数に占める延外国人宿泊者数の比率をいいます。
- (注6) 客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率については集計対象ホテルの加重平均値です。
- (注7) 客室稼働率及びインバウンド比率については小数点以下第二位を、ADR及びRevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。
- (注8) 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
- (注9) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

(ご参考)

スポンサーであるスターアジアグループに属するスターアジア不動産投資法人が保有し、当社グループが運営するホテルについては、スターアジア不動産投資法人のホームページにおいて、当該ホテルの月次の運営状況が掲載されておりますので当該ウェブサイトをご参照ください。

スターアジア不動産投資法人ホームページ

<https://starasia-reit.com/ja/ir/index.html>

以 上